

REA-NETサービス

操 作 説 明 書

1. 起動方法
2. 動作環境のチェックをする
3. 個人パスワードの設定
4. 通知用E-mailの設定
5. REA-Netサポートセンター
- 6-1. 事例閲覧サービス
- 6-2. 事例閲覧サービス利用履歴
- 6-3. REA-INFO(情報共有掲示板)
- 6-4. REA-Data(ファイル受け渡し)
- 6-5. REA-Map(地図システム)**

社団法人 日本不動産鑑定協会

6-5. REA-Map (地図システム)

ステップ 1

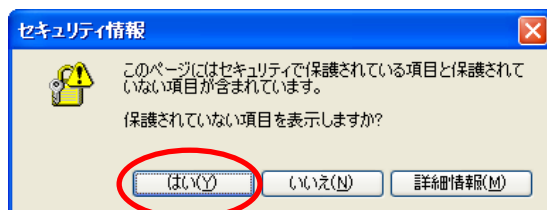
「REA-Map」を選択します。



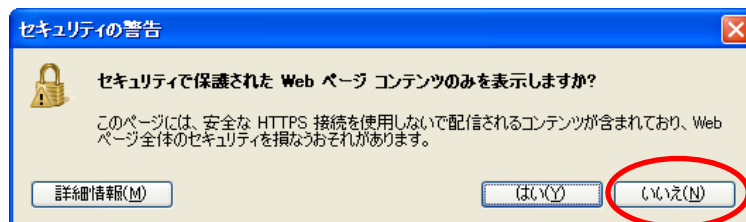
「セキュリティ警告」を表示します。

ブラウザ	OS	
Internet Explorer6.0	Windows XP	「はい」を選択します。
Internet Explorer7.0	Windows XP、Vista	「はい」を選択します。
Internet Explorer8.0	Windows XP、Vista、7	「いいえ」を選択します。

Internet Explorer 6.0 と 7.0



Internet Explorer 8.0

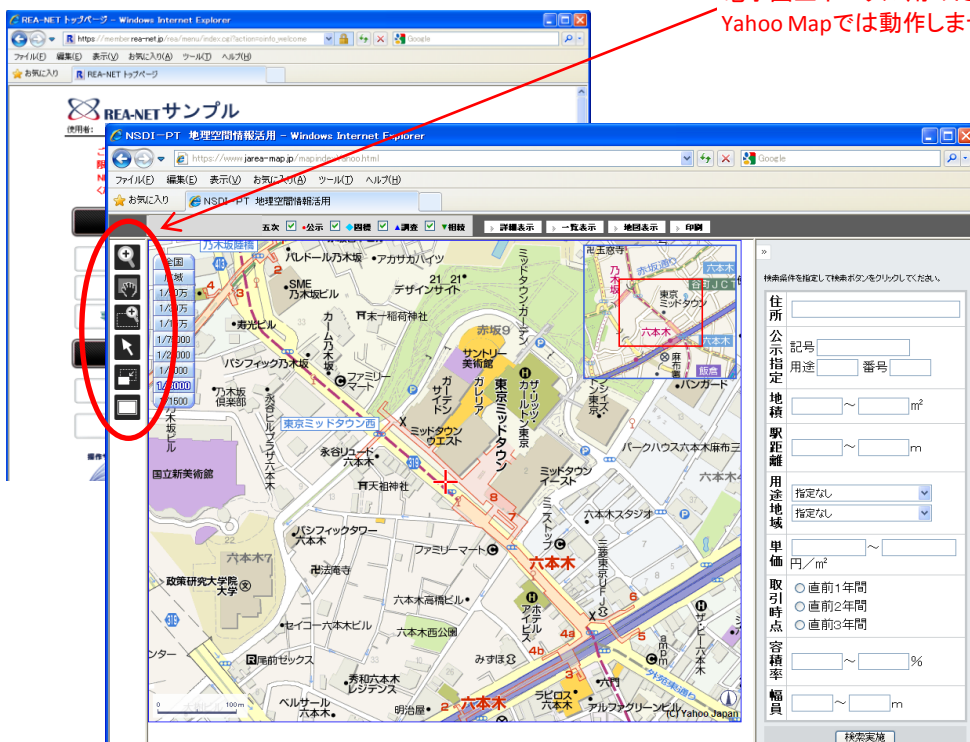


間違って「はい」を選択すると
Yahoo Mapが表示されません
のでご注意ください

REA-NETトップページとは別に、Mapウィンドウを開きます。

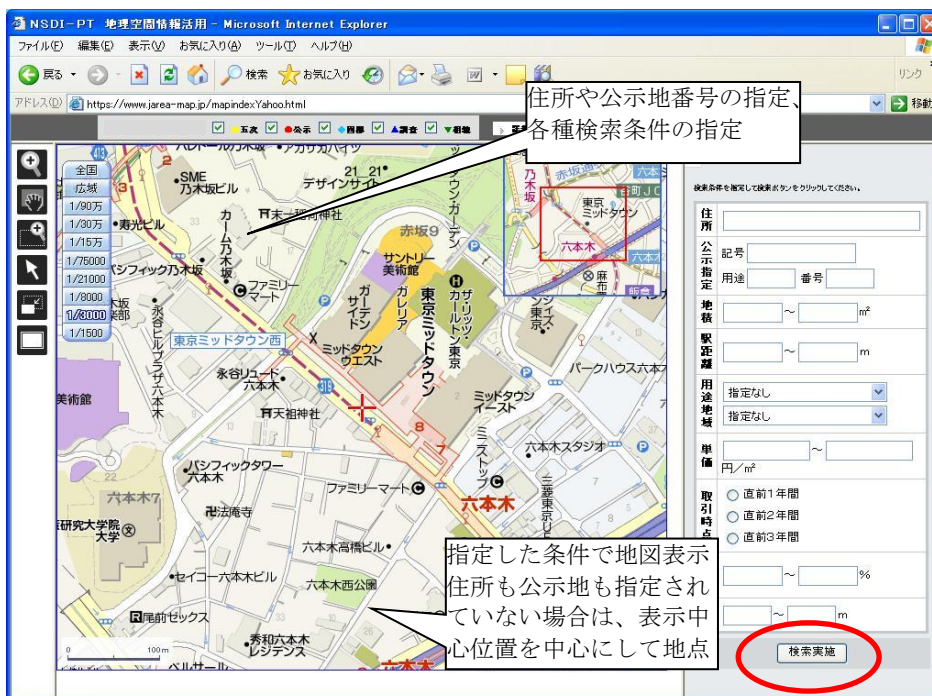
Yahoo Mapを背景図として採用しております。

電子国土ポータル用のため、
Yahoo Mapでは動作しません



ステップ 2

(1) REA-NETから表示

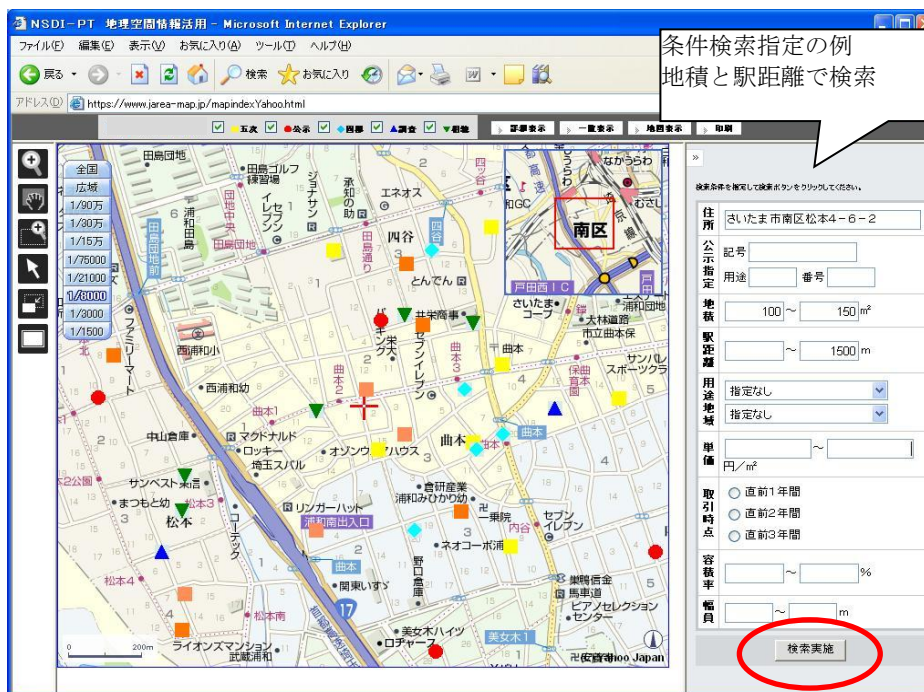


(2) 地点表示

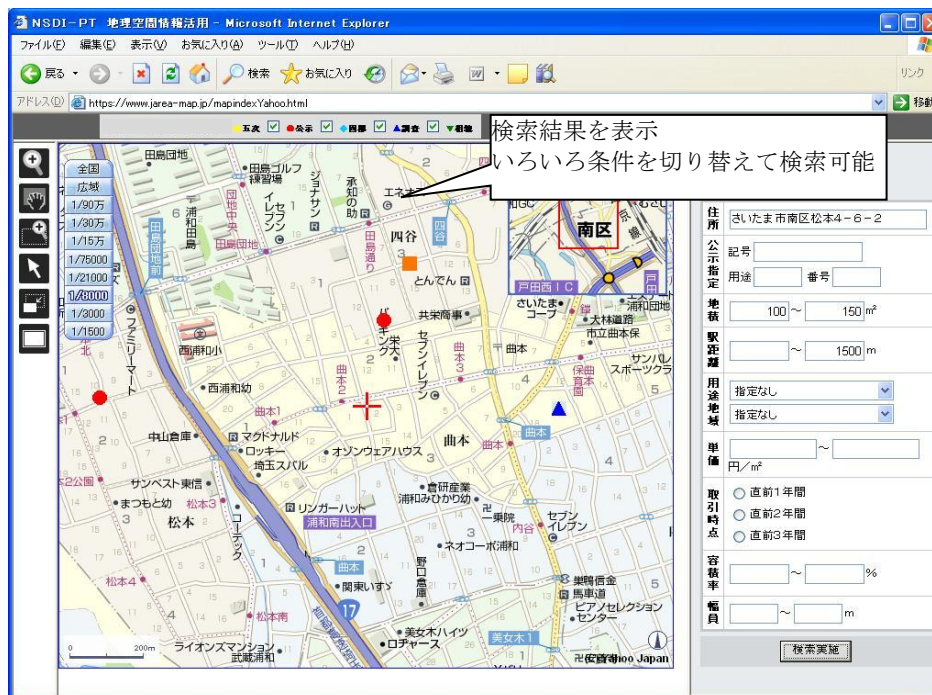


ご注意：
座標を自動取得した場合、1つの町名に複数の事例が重複する場合がございます。この場合は、アイコンは1つしか表示されませんので、一覧表示にて事例をご確認下さい

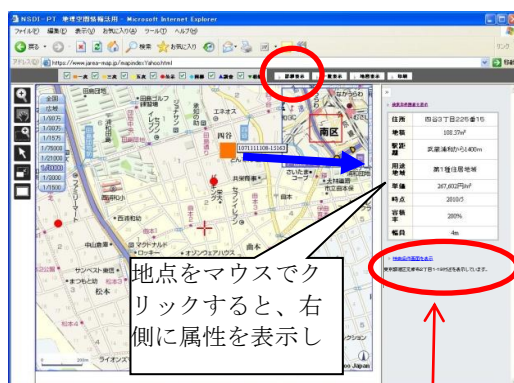
(3) 検索指定



(4) 検索結果



(5) 地点属性表示

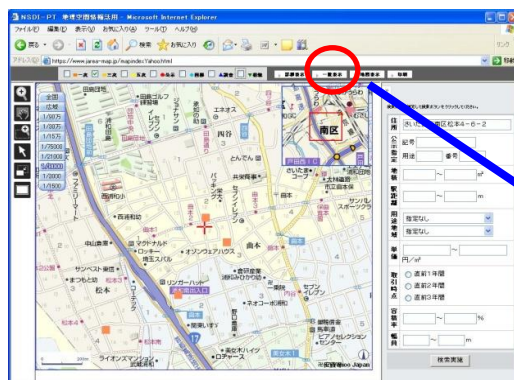


ご注意:
自動取得した座標の精度を表示します。
町名の場合、地番の場合と事例によって異なります。

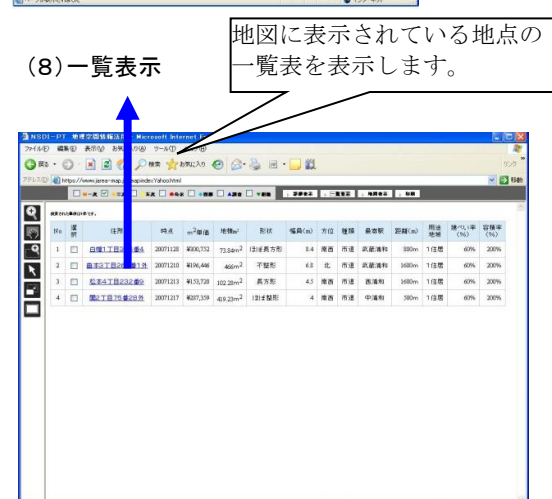
(7) 詳細情報表示



(6) レイヤ切替表示

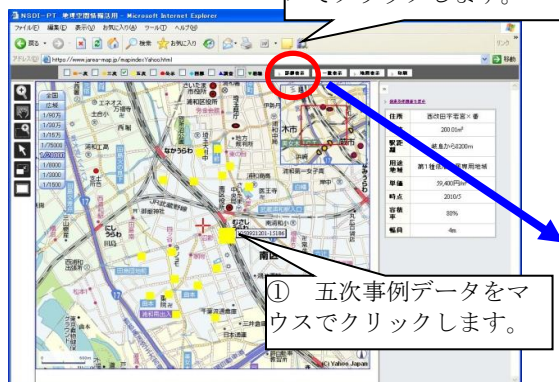


(8) 一覧表示



(9) REA-NETとの連携

② [詳細表示] をマウスでクリックします。



① 五次事例データをマウスでクリックします。



五次データのリンクから
も事例カードを表示でき

注>1回のアクセスで2回目からこの画面は省略

HEA-Net Services - Windows Internet Explorer

https://member.rear-net.jp/users/detail.cgi?uid=991&id=cc03164_jdu=&PREFID=002776C0&PCID=002F0C6C0&PVID=002D0E03D-10334-59-599-0

ファイル名 編集 表示印刷 お気に入り追加 ツール ヘルプ

使用者: (株)システム科学研究所 ユーザリスト [ログアウト]

〇〇県不動産鑑定士協会

- 説明 -

閲覧申請日:	2019/04/30
利用サービス:	取引事例データ(宅地)
閲覧者氏名:	マップテスト (マップテスト)
事業所名称:	(特)システム科学研究所 (システムカクゲンキューショ)
所属協会名称:	(個人) 〇〇県不動産鑑定士協会
講習会の種類:	なし
所属分科名称:	なし

私及び私の所属する鑑定業者は、資料の共同利用者として、閲覧・複写した資料については、資料の共同管理責任者である当協会と同様の責任を負うことを意思表明し、下記のとおり資料の閲覧を申請します。なお、この申請書に記載した事項に誤りがあった場合には、私及び私の所属する鑑定業者が当協会において閲覧停止の措置を要すると、異議申し立てもすることがあります。

- 閲覧・複写する資料の利用目的
 - ☒ 鑑定評価業務
 - ☐ 鑑定評価の簡易周辺業務 (現地実査する)



必要に応じて印刷します。

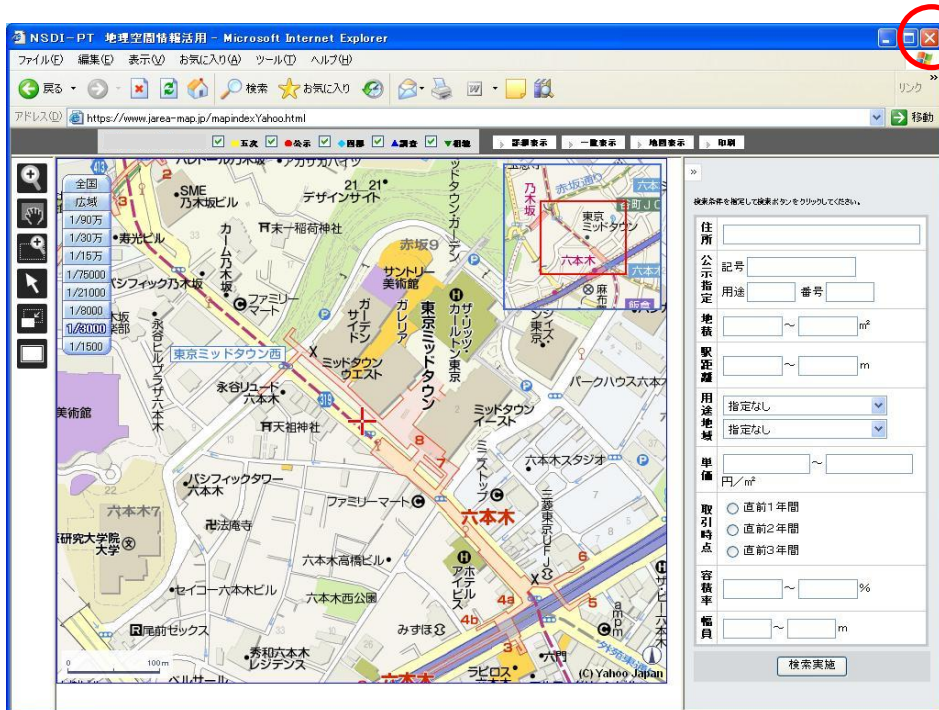
画面を閉じるときは、右上[×]をクリックします。

[illegible]

ステップ 3

システムの終了

システムを終了するとき、右上[×] をクリックします。



REA-NETメニュー画面に戻ります。